

電波資源拡大のための研究開発・平成26年度追跡評価

案件名	実施期間	評価会での主なコメント
基幹用ミリ波帯無線伝送システムの実現のための基盤技術の研究開発	H17-H20	<ul style="list-style-type: none"> ・80GHz 帯10Gbps 無線伝送システム実現可能性と技術的条件を明らかにすることにより、70-100GHz 帯電波資源の有効利用に貢献できことを示しており、大いに有効であると判断できる。 ・技術規格も策定され、H24 年度には製品化がなされているなど有益であった。 ・学術論文、特許のバランスは良い。InP デバイス関連で世界一流の学術論文誌に発表しており、高い技術力が示された。
マイクロ波帯、ミリ波帯の利用拡大のための機器雑音抑制技術の研究開発	H19-H22	<ul style="list-style-type: none"> ・無線ホームルータへの活用など、具体的な製品を通して開発した技術の有効性が示されており、電波資源の有効利用と拡大に対して、開発した機器雑音抑制技術が、大いに有効であると判断される。 ・経済性を損なうことなく、性能向上が達成されていることで種々の製品への波及効果が期待できる。 ・本研究開発は、この分野(EMC 環境改善)の研究の取り付きという意味で大きな意義がある。今後も継続し、技術力を向上させるべきである。